

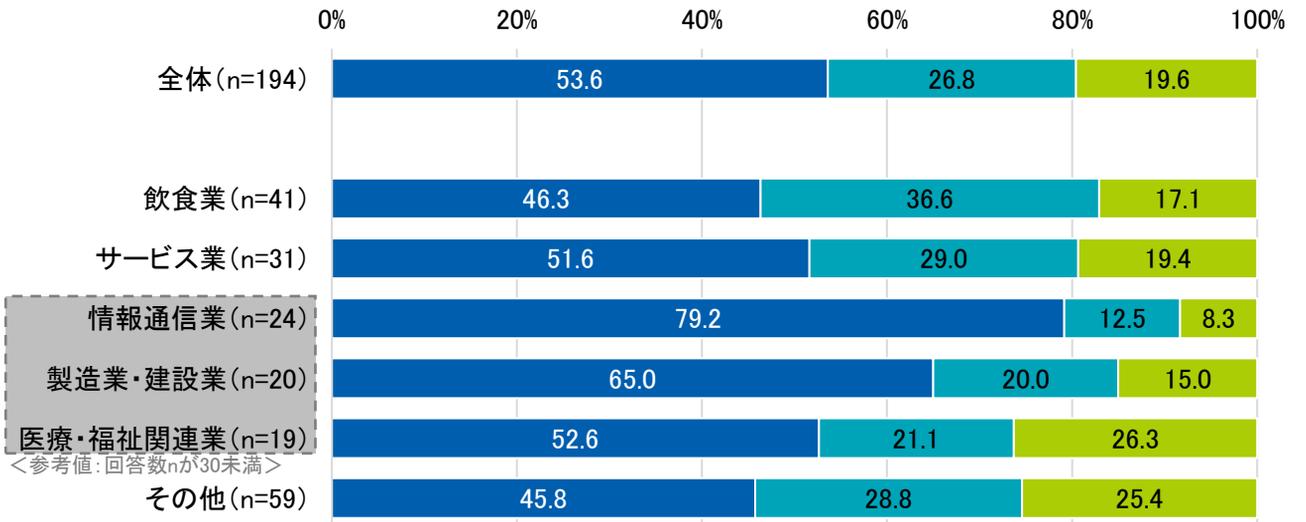
ジョブズコミュニティレポート 2022年11月号

インバウンド増加に期待高まる 各企業の採用計画は？

—10月から外国人の入国規制が緩和—

Q 外国人観光客の増加に期待し、外国人対応ができるスタッフを増やしますか？

2022年10月末時点



- 増やす予定
- 今後の状況によって増やすことを検討する
- 今いるスタッフで対応可能なので考えていない

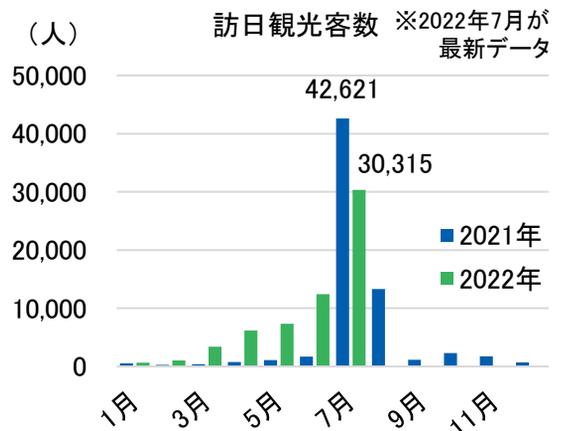
※「観光客に対応する仕事ではない」の回答を除く。

10月11日から外国人の入国規制が大幅に緩和されました。今後、外国人観光客の増加が見込まれるにあたり、外国人対応スタッフの増員計画について、経営者や採用担当者に伺いました。

「増やす予定」と回答したのは53.6%と、規制緩和がされた約2週間後には、半数以上の企業がすでに増員を予定していました。今回の規制緩和による売り上げ増加への高い期待が垣間見えます。

一方で、業種別に見ると、飲食業において「今後の状況によって増やすことを検討する」と回答した割合が36.6%と全体26.8%と比べて高く、外国人観光客の増加による売り上げへの影響については、まだ様子をうかがっている企業が多いのかもしれません。

日本政府観光局のデータによると、2021年の訪日観光客のピークは東京オリンピックが開催された7月の4.2万人でした。2022年7月時点においてはまだ3万人と昨年を上回る数値にはいたっていませんが、今回の規制緩和により増加が見込まれるでしょう。外国人観光客が増え、コロナ禍で低迷した業績が回復することは喜ばしいことです。しかしながら、すでに人材不足を感じている企業も多く（※参考）、今後、さらなる人材獲得競争の激化が予想されます。



※参考：採用担当者意識調査レポート vol.8
https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20220920_2384.html

出典：日本政府観光局

- アンケート実施期間：2022年10月21日～10月27日
- 有効回答数：194人
- 対象：人材インフォメールマガジン会員
- 本レポートに関するお問い合わせ先
株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター jbrc@r.recruit.co.jp
- その他のアンケート結果はこちらから
https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html